

第7章 河川空間の利用状況

7-1 河川敷の利用状況

① 高水敷の利用状況

雲出川の直轄区間は、河口から須賀瀬橋にかけて、主にレクリエーションの場としての河川敷整備がなされているが、須賀瀬橋より上流はほとんどが自然利用となっている。

また、指定区間の八手俣川にある君ヶ野ダムには、キャンプエリアやアーチェリー場等の施設が整備されており、宿泊施設も設けられている。

表7-1 河川利用施設の状況

河川名	距離表	右左岸	施設名	種類	施設面積 (ha)	管理者名	一般利用
雲出川	4.0km付近	左岸	野球場	運動場	0.5	津市	可
	5.2km付近	左岸	雲出川河川敷公園	公園	4.1	松阪市	可
	6.6km付近	左岸	雲出川緑地	公園	12.6	津市	可
	8.8km付近	右岸	ゲートボール場	運動場	0.5	津市	可
	11.0km付近	左岸	久居市牧草栽培地	その他	20.1	津市 酪農組合	不可
	11.2km付近	右岸	河川公園	公園	0.1	津市	可
	11.2km付近	右岸	河川公園	公園	0.4	津市	可
	12.2km付近	右岸	河川公園	公園	0.2	津市	可
中村川	1.0~2.0km付近	右岸	桜づつみ 中村川河川公園	桜並木園	0.5	松阪市	可
雲出古川	2.0km付近	右岸	西山公園	公園	1.3	津市	可



大正橋下流

12.6haと最も広い面積を有している雲出川緑地は、左岸の広い高水敷きを利用して野球場2面、ソフトボール場4面、テニスコート3面が整備されている。





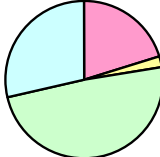



大正橋付近

② 年間利用状況

平成 15 年度に実施された「河川水辺の国勢調査（河川空間利用実態調査）」における直轄管理区間での雲出川河川空間利用者数（推定）は、約 24 万人となっており、沿川市町村人口からみた 1 人当たりの年間利用回数は約 2 回となっている。

利用別形態では、水遊びが 49% と最も多く、次いで散策等が 29%、スポーツが 20%、釣りが共に 2% であり、護岸及び高水敷が整備された箇所では釣り、水遊び、散策等が多くなっている。

表 7-2 雲出川の河川空間利用状況

区分	項目	年間推計値(千人)		利用状況の割合	
		平成12年度	平成15年度	平成12年度	平成15年度
利用形態別	スポーツ 	19	48	 散策等(37%) スポーツ(4%)	 散策等(29%) スポーツ(20%)
	釣り 	21	5		
	水遊び 	287	116		
	散策等 	190	68		
	合計	517	237		



中村川 1.0～2.0k 右岸



雲出川 5.0～6.0k 右岸

河川利用の状況

7-2 河川の利用状況

雲出川上・中流部の津市美杉町から津市白山町にかけては、一志峡、亀ヶ広、家城ライン等があり、渓谷美を楽しむ景勝地として、また、釣り場やキャンプ場として利用されている。源流部の若宮八幡宮では、禊ぎの滝として古来より数多くの霊験を戴く神水とされている。

君ヶ野ダム周辺の桜並木は観光名所として有名で、レジャー施設も整っているほか、マラソン大会等のイベントも数多く開催されている。



アユ釣り

6月から8月にかけてはアユ釣りの人々で賑わう。



亀ヶ広

春には堤防に沿って植えられた桜が鮮やかに周りを彩る。



若宮八幡宮（津市美杉町）

約 1500 年前の履中天皇の時代の創建と伝えられる古社。雲出川水源のみそぎ滝は清浄にして、昔より万病の薬水、不老の長命水、物事成就の成功水等、数多くの霊験を戴く神水とされている。

下流部の直轄区間は広い高水敷を利用した公園、緑地等の施設利用が主体となっており、5.2km 付近の雲出川河川敷公園では、グラウンドやカヌー公園として整備されている。また、5.4～7.2 km付近は都市計画緑地として雲出川緑地（津市木造町）があり、テニスコートやソフトボール場、野球場、サイクリングロード約 1.6km が整備されている。

松阪市三雲地区では7月7日の七夕、雲出橋に笹を飾る笹飾りの行事が行われており、毎年大勢の人々で賑わっている。



カヌー大会

【出典：「川にゴミを捨てないようにしましょう」パンフレット】
ラブリバー公園では、夏が近づくとカヌー大会が開催される。



七夕笹飾り（松阪市三雲町）

七夕の時期に雲出橋で笹飾りを行っており、夏の風物詩となっている。

河口部では干潟が発達し、春から初夏のたて干しや潮干狩り、夏の海水浴、冬のシラス取りが雲出川の風物詩になっている。

派川雲出古川は、右岸に幅 20m程の高水敷が見られる。

また、支川中村川の小川橋上流には桜づつみが整備されており、桜並木に囲まれた明るい水辺が創出されている。



たて干し

遠浅の香良洲浦海岸は、たて干しや潮干狩りには絶好の場と知られている。



潮干狩り

潮干狩りシーズンである5月には5千人と1年で最も多くの観光客が訪れる。



海水浴

【出典：香良洲浦パンフレット】

白砂青松の地で、伊勢の海県立自然公園の一部となっており、夏には海水浴客で賑わう。